



「明日」で培ったスキルを海外で実践



海外見学旅行

- 実施日 平成30年11月31日～12月5日
- 旅行地 アメリカ・シアトル
カナダ・バンクーバー
- 生徒 5回生 73名

本校の海外見学旅行は、入学以降培ってきた「異文化理解」の能力や、「外国語コミュニケーション能力」、「課題解決力」、「情報発信力」を、海外の様々な場面で、生徒自ら試すことができます。

1. ワシントン大学訪問

①SGH 課題研究紹介・・・SGH 課題研究のグループごとに、現在行っている研究についてワシントン大学の学生に英語で簡潔に紹介し、研究内容について質問や感想を聞いたりしました。視覚資料を使いながら、全ての生徒が発表しました。



②ディスカッション・・・事前に生徒たちから集まった15のテーマについて、大学生と英語で意見交換をしました。日米の両方で人気のあるスマホゲームの話題や、理想の恋愛などについて盛り上がり



たり、またアメリカ人の学生が政治に強い関心があることに驚いたり、短いながらも心が通い合う楽しい時間となりました。

2. ホームステイ

73名全員が「1人1家庭」で、3泊4日のホームステイを体験しました。ホストファミ

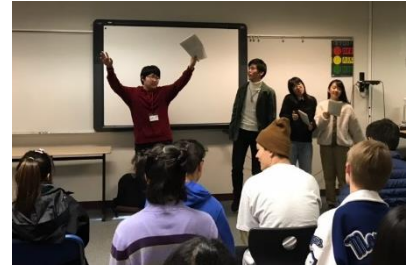


AKB Future Project 推進委員会

リーと話が弾むように、事前に自分のことや好きな日本の物について紹介する準備をしました。週末には、シアトルの町のあちこちで、ホストファミリーと楽しそうに過ごす姿が見られました。

3. 現地校訪問

姉妹校のボッセル高校を始め、生徒たちはシアトル近郊の4つの高校に分かれて訪れ、日本文化について紹介したり、日本の遊びを一緒に楽しんだりしました。さらには現地の生徒と一緒に授業に参加したり、カフェテリ



アで昼食を食べたりするなど、短い時間でしたがアメリカの高校生活を体験しました。

4. バンクーバー自主研修

高校訪問の後はバスで国境を越え、カナダのバンクーバーまで移動しました。クリスマスのライトがきらめく中、英語を使いながら、班ごとに買い物や食事、街歩きなどを楽しみました。



生徒の感想より

- ・色んな面（英語力、積極性、即時の対応など）で強くなれた。満足感や達成感で一杯だった。
- ・不安の方が大きかったが、行ってみると、英語がうまく話せなくても楽しかった。自分の小ささやはっきり物を言うことの大切さを学んだ。
- ・卒業の時点では皆が「海外経験あり」ということが、国際的な人材を育てられる、明日ならではのすばらしいプログラムだなと感じました。